



「たたえよ主の召したまいし」—— 預言者ジョセフ・スミスについての 末日の預言者たちの証^{あかし}

「預言者ジョセフ・スミスは……この世で最後となる福音の神権時代を開くために、神御自身の声により、神によって召されました。」(ジョセフ・F・スミス)

ジョセフ・スミスの生涯から

預言者ジョセフ・スミスと兄ハイラムの死後、合衆国内で伝道の旅をしていた十二使徒定員会の会員は、可能なかぎり急いでノーブーへ戻って来た。十二使徒定員会会員は1844年8月8日に聖徒たちの集会を召集した。集会の中で、十二使徒定員会会長のブリガム・ヤングが話した。彼が話している間、多くの聖徒たちが見ている中で驚くべき出来事が起きた。ヤング会長の声と姿が不思議なほどジョセフ・スミスに似ていたのだ。ジョージ・Q・キャノンはそのときのことを次のように回想している。「もしジョセフが死者の中からよみがえり、彼らが聞いている前で語ったとしても、その場にいた多くの人にあれほど大きな衝撃は与えなかったでしょう。それはジョセフの声そのものでした。そして、ジョセフの声が聞こえてきただけでなく、ほかならぬジョセフ自身が皆の前に立っているのを見ているかのようでした。あの日、あの会衆の前で起きた出来事よりも不可思議で奇跡的な出来事を聞いたことはありません。主はこの後、民を導く者としてだれをお選びになったのか、疑う余地のない証を民に与えてくださったのです。」¹

その集会を終えるに当たって、聖徒たちは十二使徒が民を管理することに賛意を表明した。それから3年余りが過ぎた1847年12月に再び大管長会が組織され、ブリガム・ヤングが教会の大管長として支持された。

ブリガム・ヤングの時代以降、教会を管理した大管長は皆、預言者



ブリガム・ヤングはこのように宣言した。「地の基が置かれるはるか以前に開かれた永遠の会議において、〔ジョセフ・スミス〕は、この世界の最後の神権時代に神の言葉を人々にもたら〔す〕人となるよう定められました。」

ジョセフ・スミスの驚くべき使命について証^{あかし}してきた。ジョセフ・スミスは末日の偉大な預言者、聖見者となるよう天上の会議で選ばれた。彼の使命は非常に重要であったため、旧約聖書のエジプトへ売られたヨセフやそのほかの古代の預言者たちが彼のことを預言していた。エジプトへ売られたヨセフ自身も聖見者であり、彼もまたジョセフ・スミスについて、詳しく預言していた。

『主なるわたしの神は、一人の聖見者を立てられる。それは、わたしの腰から出た者のためのえり抜きの聖見者である。』……その聖見者の名はわたしにちなんで付けられ、またその名は彼の父の名を取って付けられる。そして、彼はわたしのようである。主が彼の手により、主の力によってもたらされるものが、わたしの民を救いに至らせるからである。」(2ニーファイ3：6，15。2ニーファイ3：6-22も参照)²

1834年12月、ジョセフ・スミス・シニアは預言者ジョセフに祝福を与え、彼が昔のヨセフが預言した聖見者であることを告げた。「わたしはあなたの父祖アブラハム、イサク、ヤコブの祝福をあなたに祝福します。そしてヤコブの子孫であるあなたの父ジョセフの祝福をもあなたに祝福します。見なさい、ヤコブは末日における自分の子孫を心にかけていました。……彼はその子孫がどこから来て主の御言葉^{みことば}をもたらすかを知ろうとして熱心に探し求めました。主の御言葉によって、彼らは教化され真の群れに連れ戻されるのです。そして、わたしの息子よ、彼の目はあなたを見ました。彼の心は喜び、彼の魂は満たされました。そして彼はこう言いました。『わたしの子孫の中から、異邦人とともに散らされた者の中から選り抜きの聖見者が起こる。……彼の心は偉大な知恵を熟慮し、彼の英知は神にかかわる深い事柄を囲み込んで、理解する。そして、彼の口は公正な律法を語る。』……あなたはこの世から永遠にわたり、この職すなわちこの教会を管理する鍵^{かぎ}を持つでしょう。』³

末日に選ばれた聖見者ジョセフ・スミスを通して、福音の教義と救いの儀式が明らかにされ、イエス・キリストの真実の教会が再び地上に確立された。古代と現代の預言者たちが証に証を加えて宣言している。すなわちジョセフ・スミスは神に使われる者であり、神は彼を通じて「永遠から永遠にわたる人類家族全体のために」⁴ 完全な福音を回復されたのであると。

末日の預言者たちの証^{あかし}

ジョセフ・スミスは預言者の召しに予任されていた



ブリガム・ヤング大管長

ブリガム・ヤング大管長——「地の基が置かれるはるか以前に開かれた永遠の会議において、〔ジョセフ・スミス〕は、この世界の最後の神権時代に神の言葉を人々にもたらし、神の御子の神権のすべての^{かぎ}鍵と力を受ける人となるよう定められました。主は彼のうえに、彼の父親のうえに、彼の父親の父親のうえに、そしてアブラハムに至るまで、彼の先祖に目を注がれました。そしてアブラハムからさらにさかのぼって洪水の時代、洪水の時代からエノク、エノクからアダムに目を注いでこられました。主はこの家系を見守り、この家系の血統が始祖からこの人の誕生まで継承されるのを見守ってこられました。〔ジョセフ・スミス〕はこの最後の神権時代を管理するよう永遠に予任されていたのです。』⁵

ジョセフ・フィールディング・スミス大管長——「ジョセフ・スミスは末日の主の業の頭^{かしら}として立つよう選ばれました。そして、その業は永遠の御父の先見の明により、永遠の世界において、ジョセフが生まれる前から彼に任じられていました。ジョセフは主の来臨の道を備えるためにエライアスの霊とともに来しました。もちろん^{あがな}贖い主を例外として、アダム以来のどの預言者も、彼よりも大いなる使命を与えられることはありませんでした。』⁶



エズラ・タフト・
ベンソン大管長

エズラ・タフト・ベンソン大管長——「預言者の地上での使命の重要性について理解するには、それを永遠の光に照らして見る必要があります。ジョセフは、アブラハムが説明した『高潔で偉大な者たち』の中にいました。

『さて、主はわたしアブラハムに、世界が存在する前に組織された英知たちを見せてくださった。そして、これらすべての中には、高潔で偉大な者たちが多くいた。神

がこれらの者を見られると、彼らは良かった。そこで、神は彼らの中に立って言われた。「わたしはこれらの者を、治める者としよう。」神は霊であったこれらの者の中に立って、見て、彼らを良しとされたからである。また、神はわたしに言われた。「アブラハム、あなたはこれらの者の一人である。あなたは生まれる前に選ばれたのである。』（アブラハム3：22-23）

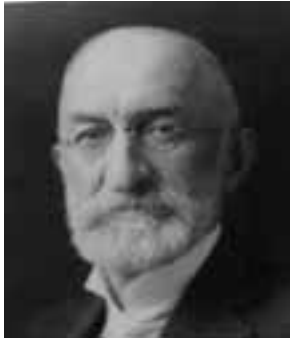
ジョセフ・スミスもそうでした。彼もそこにいました。高潔で偉大な者たちとともに会議の中にいました。誉れと榮譽ほまにおいて卓越した位置にいたジョセフが、「人の不死不滅と永遠の命をもたらす」〔モーセ1：39〕業、すなわち御父のすべての子供たちを救うという主の偉大な業の計画と実施たづみに携わったことは、疑うべくもありません。ジョセフの使命は、地上に来るすべての人に対して影響を与えます。これまで地上に生きたすべての人、これから生まれてくる無数の人々にその業の影響が及ぶのです。……

預言者ジョセフ・スミスは単に「高潔で偉大な者たちの一人」であっただけでなく、彼は、過去においても、そして今日も、天からこの地上こんちの重要な事柄に目を配っているのです。なぜなら主の目にあっては……預言者ジョセフが重大な役割を果たしている偉大な永遠の計画はすべて、神の永遠の神権と権能を通して行われる一つの事柄だからです。』⁷

ジョセフ・スミスの最初の示現は、個人あかしの証の根幹をなす

ジョセフ・F・スミス大管長——「神の御子が墓より復活して高きに昇られて以来、世に起こった最も大いなる出来事は、御父と御子が少年ジョセフ・スミスを訪れて、人の王国ではなく、決して絶えることも滅ぼされることもない〔神〕の王国の基を置くための道を備えられたことです。」

わたしはこの真理を受け入れてから、ジョセフ・スミスが明らかにし、宣言したほかのすべての真理を容易に受け入れられるようになりました。……ジョセフ・スミスは決して誤った教義を教えたことはありませんでした。実行するように命じられた教義はすべて実行しました。誤りを主張したことはなく、欺かれていたこともありませんでした。実際にその目で見、耳で聞き、そして命じられたことを行ったのです。したがって、ジョセフ・スミスが果たした業については、ジョセフ・スミスでなく神に責任があります。人ではなく、神がその業に対して責任を持たれるのです。』⁸



ヒーバー・J・グラント大管長

それは救いをもたらす神の力です。神の指示の下で確立されたイエス・キリスト教会です。世のいかなる不信心な者たちも末日聖徒イエス・キリスト教会に関連した基本的な事実を変えることはできません。』⁹



ハワード・W・ハンター大管長

これが真実でなければ、モルモニズムは滅びるでしょう。もしこれが真実であれば、もちろんわたしは真実であると証しますが、これはすべての歴史を通じて最も偉大な出来事の一つということになるのです。』¹⁰

デビッド・O・マッケイ大管長——「御父と御子がジョセフ・スミスに御姿を現されたこと、これがこの教会の基となっています。このことこそ、教会の力と持続性の鍵なのです。わたしはこれがまさしく真実であることを証します。この啓示一つで神とその神聖な属性に関するどのような科学的追及にも答えることができます。これがどのような意味を持つか分かるでしょうか。この啓示により、神がどのような御方か、という問いに答えが与えられ、神とその子供たちの関係も明らかになってきます。また人に権能を授けられたことから、神が人にどのような関心を抱いておられるかが分かるのです。この業の将来は保障されています。これらの真理をはじめ、そ

ヒーバー・J・グラント大管長——「ジョセフ・スミスは確かに神と会い、神と言葉を交わし、神御自身がイエス・キリストを少年ジョセフ・スミスに紹介されました。イエス・キリストは、ジョセフ・スミスが神の手に使われる者になり、いわゆるモルモニズムと呼ばれるイエス・キリストの真の福音を地上に再び築く、と彼に確かに告げられました。これらのことが作り話だということは決してありません。モルモニズムは作り話ではない

ハワード・W・ハンター大管長——「わたしはこの教会の会員であることに感謝しています。そしてこの教会が神の教会であるというわたしの証は、森の中でひざまずき天の御方の訪問を受けた少年の簡潔な物語に基づいています。ただ一人の神ではなく、二人の別個の御方である御父と御子が、神会を構成する御方として再び地上に御姿を現されたのです。わたしの信仰と証は、この簡潔な話に基づいています。もしこの

の他の崇高な真理が、栄えある最初の示現によって明らかにされました。』¹¹

エズラ・タフト・ベンソン大管長——「預言者ジョセフ・スミスの最初の示現は教会にとってよりどころとなる教義です。敵はそのことを知っていて、御父と御子の訪れを公表するやいなや、ジョセフ・スミスの^{しん}信憑性^{びょう}に対して攻撃を仕掛けてくるようになりました。……したがってあなたがたは、最初の示現が真実であることについて常に証をしなければなりません。ジョセフ・スミスは確かに御父と御子にまみえました。御二方はジョセフが言っているような形でジョセフに語りかけられました。それは、主の復活以来最も栄光に満ちた出来事です。指導者の中で神とイエス・キリストがジョセフ・スミスに御姿を現されたとの証を明確に宣言できない人は、真の指導者、真の羊飼いになることができません。この真理を受け入れなければ、……つまりこの偉大な啓示についての証を受けなければ、わたしたちが指導する人々の信仰を鼓舞することはできません。』¹²



ジョージ・アルバート・スミス大管長

ジョージ・アルバート・スミス大管長——

「その少年預言者がパルマイラの森の中で御父と御子にまみえ、御二方が確かに人の形をしておられるのを見たとき、そして、御二方が自分の言葉を聞き、それにこたえることがおできになることを知ったとき、世の新しい時代が幕を開け、人の子の信仰の土台が据えられたのです。人々は今や天の御父に祈るときに、天と地につながりがあって、御父が自分の祈りに耳を傾け、それにこたえることがおできになるということを知ったうえで、祈ることができるのです。』¹³

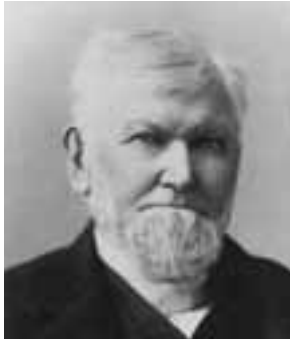
預言者ジョセフ・スミスは神と天使から教えを受けた



ジョン・テラー大管長

ジョン・テラー大管長——「ジョセフ・スミスとはどのような人物でしょうか。モルモン書は、彼がエジプトに売られたヨセフの子孫であると告げています。すなわち彼は地上で業を行うためにアブラハムのように選ばれたのです。神はこの少年を選ばれました。ジョセフは世の学問は修めていませんでしたが、わたしの生涯で出会った人の中で最も深い理解と知性を持つ

人物でした。わたしは何十万マイルを旅し、方々の大陸に行き、ありとあらゆる階級の、様々な信条の人々に会ってきました。それでも、彼のように高度な知性を持つ人に会ったことはありません。彼はどこからそのような知性を得たのでしょうか。書物からではありません。その時代の理論や哲学からでもありません。彼はその知性を、永遠の福音という仲立ちを通して神の啓示によって得たのです。』¹⁴



ウィルフォード・ウッドラフ大管長

ウィルフォード・ウッドラフ大管長——「この教会を組織するに当たって神の預言者に示された力と同じ力が、これまでの神権時代で人の子らに示されたとは、わたしの知るかぎりどこにも記されていません。その力が示されたのは、御父と御子が預言者ジョセフの祈りにこたえてともに御姿を現された時でした。そのとき御父はこう言われました。『これはわたしの愛する子である。彼を見なさい。彼に聞きなさい。』これは神が御自分の業に関して与えられた重要な啓示でした。世のいかなる神権時代にも同じような方法で示されたことはありません。そのため、神の預言者は教会を組織するに当たって天使から教えを受けました。天使がジョセフの教師であり、指導者でした。ジョセフが行ったすべての事柄と、始めから、すなわちあの日から殉教の日に至るまでジョセフ・スミスが成し遂げたすべての事柄は、イエス・キリストの啓示によるものだったのです。』¹⁵



ロレンゾ・スノー大管長

ロレンゾ・スノー大管長——「神がこの業を確立するために選ばれたジョセフ・スミスは、貧しく、無学であり、有力なキリスト教教派のいずれにも属していませんでした。彼は一介の少年でしたが、正直で、高潔でした。……ジョセフはモーセのように、自分はそのような役割を果たすことなどできない、不適格であると感じました。宗教改革者として立つことなど、だれもがごめんこうむりたい責任です。長い歴史を通じて人々が受け入れてきた信念や信条と闘わなければならないのです。人々が容認し、従ってきた神学と闘うことなどできるのでしょうか。しかし神は彼を召されました。すべての国々の貧しく心の正直な

人々を、霊的な束縛とこの世的な束縛から解放するために神は彼を召されたのです。そして神は彼にこう約束されました。だれであれ彼のメッセージを受け入れて従う人は、そしてだれであれ罪の赦しのため^{ゆる}にバプテスマを受ける人は、正直な動機からそれを行うならば、神の現れを受け、聖霊を受け、昔の使徒が教えた福音とその福音によって約束されている祝福を受けるであろうと。そしてこのメッセージとこの約束は、神から権能を受けた使者である長老たちによってどこのだれに^の宣べ伝えられようとも有効なのです。あの無学で、洗練されておらず、純粹で、素朴で、正直な少年ジョセフ・スミスがそう述べたのです。]¹⁶



ハロルド・B・リー大管長

ハロルド・B・リー大管長——「ジョセフ・スミスというこの若者は、当時の神学教育を受けたわけではありませんし、高等教育を受けたわけでもありません。……しかし、彼は御霊の教えとささやきに従う心を持っていたのです。ジョセフ・スミスの力だけで、この教会を確立することはできなかったでしょう。彼一人の力で、主の業を起こしたり、モルモン書を世に出したりすることはできなかったでしょう。人々は

預言者ジョセフ・スミス^を、ただの人間にすぎないとしてあざけるかもしれない。世の人々は、この教会の起源に疑念を抱くかもしれません。しかし、ここにモルモン書自体が、不朽の金字塔として、しっかりとそびえているのです。人間としてのジョセフにはこの業を行う力はなかったこと^{くら}でしょう。しかし、全能の神の力に駆り立てられていたジョセフは、暗闇^{やみ}から神の王国をもたらすという奇跡の業を成し遂げる力を持ち、イエス・キリストの回復された福音の中で、実際にそれを達成したのです。]¹⁷



デビッド・O・マッケイ大管長

デビッド・O・マッケイ大管長——「ジョセフ・スミスは偉大な人物であったばかりでなく、靈感あふれる主の僕でもあったと申し上げたいのです。……実際、ジョセフ・スミスの偉大さは神から靈感を受けたことにあります。……

ユダヤ人はイエスの知恵に驚いて尋ねました。『この人は学問をしたこともないのに、どうして律法の知識をもっているのだ

ろう』〔ヨハネ7：15〕わたしたちはジョセフ・スミスについても、同じことを尋ねるかもしれません。しかし、教会を組織してから殉教するまでの14年という短い年月の間に〔ジョセフ・スミスが〕成し遂げた偉業について考えるとき、そして回復された福音がイエスと使徒たちによって設立された原始教会の福音と完全に一致していることについて思いをはせるとき、また原則と儀式についてジョセフが鋭い見識を持っていたことに気づき、キリストの靈感によって設立され、キリストの名を冠した教会の類まれな計画と力を目の当たりにするとき、『この人は、この知恵をどこで習ってきたのか』という質問の答えを次の感動的な詩の中に見いだすことができます。

たたえよ、主の召したまいし
 主と語りし予言者を
 末の時を始めたる
 業を世、皆崇めよ^{あが}』¹⁸

ハワード・W・ハンター大管長——「わたしたちは、エホバだけでなく天から遣わされたほかの偉大な人々とも親しく語った〔ジョセフ・スミス〕の能力をほめたたえます。多くの天の御使いが訪れ、鍵を渡し、末日に立てられた、この『えり抜き^{みづか}の聖見者^{かき}』に教えを与えました。……わたしたちは、何百ページにも上る聖文を授かり、翻訳したジョセフ・スミスの勤勉さと能力もほめたたえます。彼は啓示のパイプ役となりました。これまでの人類史上、ほかのだれよりも多くの、驚異的な量の啓示がジョセフを通して与えられたと考えられています。』¹⁹

預言者ジョセフ・スミスは、最後の神権時代を開き、 完全な福音を回復するよう召された



スペンサー・W・
 キンボール大管長

スペンサー・W・キンボール大管長——
 「今日、わたしは世の人々に証します。今から1世紀半以上前に、鉄の天井が砕かれ、天が再び開かれて以来、啓示は続いています。

一人の人間が心からの願いを込めて神の導きを祈ったときに、新しい時代が始まりました。人目につかない静かな場所を選び、ひざまずき、心を低くし、声に出して願いを告げました。すると、真昼の太陽よりも

明るい光が世界を照らしました。天と地を隔てる幕はもはや再び閉じることはありません。

……比類ない信仰を持つ少年ジョセフ・スミスが、その呪縛^{じゅばく}を解き、『鉄の天』を砕き、天と地の間の交わりを再開したのです。天は地に口づけし、光が闇を散らしました。そして神が再び人に語って、『しもべである預言者にその隠れた事を』再び示されたのです（アモス3：7）。新しい預言者がこの地に誕生し、神は彼を通して王国を築かれました。そしてその王国は、もはや滅びず、別の民の手に渡ることもなく、永遠に立つのです。

この王国が永遠に続くこと、そしてこの王国を世にもたらした啓示の存在は、まったくの真実です。もはや太陽は決して沈みません。人類全体が完全にふさわしさを失い、人と創り主との交わりが失われることは二度とないでしょう。神はもはや地上の神の子供たちから御姿^{すがた}を隠されることもないでしょう。啓示は続くのです。』²⁰



ゴードン・B・ヒンクレー大管長

ゴードン・B・ヒンクレー大管長——

「ジョセフの生涯は奇跡の物語です。彼は貧困の中に生まれ、逆境の中で育ちました。ここかしこに追い立てられ、虚偽の非難を受け、不当に投獄され、そして38歳で殺害されました。しかしジョセフ・スミスは死去するまでの20年という短い間に、ほかの人が一生かかっても成し遂げられないことを果たしたのです。ジョセフが翻訳し出版したモルモン書は多くの言語で翻訳され、

無数の人々に神の言葉として受け入れられています。また、ジョセフが受けた啓示や著した書物も、この無数の人々の聖典となっています。それらの書物のページ数を合計すると、ほぼ新約聖書の2倍に相当し、それがただ一人の人によってわずか数年で世に出されたのです。

またこれと同時期にジョセフ・スミスは教会を設立し、その教会は……攻撃と難関を乗り越えてきました。1830年に300人であった教会員は、現在は世界中〔に〕います。このすばらしい組織を、ジョセフ・スミスが生きていた時代の産物と言い張る懐疑論者もいます。しかしはっきりと申し上げますが、この組織は現代同様、過去においても、特殊で無類の優れた組織でした。この教会は当時の産物ではなく、神からの啓示によって設立されたのです。……

ジョセフ・スミスは死に至るまでの20年間に、福音を世界中の国々に伝えるための業を開始しました。彼の思い切った決断は、驚くべきものです。教会の揺籃期に、しかも厳しい逆境の中で、召しを受けた人々は家や家族を後に残し、海を渡り、イエス・キリストの福音の回復を宣言するために出かけて行ったのです。ジョセフ・スミスの思いとビジョンは全世界を視野に入れたものでした。

毎年2回行われる総大会の時期に、会員たちは、南北中央アメリカ、イギリス諸島、アフリカ、ヨーロッパ諸国、太平洋諸島、また歴史豊かなアジア諸国に集います。これらの人々は、神の預言者ジョセフ・スミスが抱いていたビジョンの結実です。ジョセフ・スミスはまさに、今の時代と、さらにこれから主の業が全地に広がるすばらしい時代を見た偉大な聖見者でした。]²¹



ジョセフ・F・スミス大管長

ジョセフ・F・スミス大管長——「預言者ジョセフ・スミスがほかに何をしても、あるいは彼がほかの何者であったとしても、わたしたちはこの事実を忘れてはなりません。つまり、ジョセフ・スミスは当時地上に生きていた何億の人々から選ばれた唯一の人であったということ、つまり彼はこの世で最後となる福音の神権時代を開くために、神御自身の声により、神によって召されたということを忘れてはなりません。これは記憶にとどめるべき重大なことです。ジョセフは神から召されました。世に福音をもたらすために、人の子らに聖なる神権を回復するために、世に末日聖徒イエス・キリスト教会を組織するために、そして生ける者のみならず死者をも救う福音のすべての儀式を回復するために、彼は、神御自身により召されたのです。……

……ほかにも預言者はいました。中には偉大な預言者たちもいました。天使たちに教え導かれた預言者、神の指を見た預言者、大小様々な啓示を受けた預言者がいました。けれども、御父と救い主が同時に直接御姿を現され、御自身について宣言されるという状況がどこにあるのでしょうか。そのような場面にだれが遭遇するのでしょうか。そのような人がどこにいますでしょうか。歴史に残されているかぎり、預言者ジョセフ・スミス以外にはいないのです。しかも、そのとき彼はまだ少年でした。彼はまだ一介の少年にすぎなかったのです。さらに、殉

きょう
教したのには実にまだ38歳のときでした。

……預言者ジョセフ・スミスは……御父と御子と親しく交わり、天使たちと話し、彼らの訪れを受けました。神の御子御自身を除いてどのような人物にも授けられなかった祝福と賜物^{たまもの}と力の鍵^{かぎ}を授けられました。この地上に生きた人の中で、預言者ジョセフ・スミスがカートランド神殿で受けた福音の鍵と神権時代の鍵をすべて授けられた人はいません。そのときジョセフは神の御子、モーセ、エライアス、エリヤの訪れを受けました。天が開かれて、力と権能の鍵^{ふよ}を賦与^{ふよ}されました。これによって預言者は、神の知識、力、栄光が広く、深く、地球を満たすように、神の業の基を据えることができました。』²²

ジョセフ・スミスの業はかつて地上に生きた人、今生きている人、これから生まれてくる人を祝福する

ジョセフ・F・スミス大管長——「ジョセフ・スミスが携^{たずさ}わっていた業はこの世だけにかかわるものでなく、来た^{きた}べき世とすでに過ぎ去った世ともかかわりがあります。言い換えれば、かつて地上に住んだ人々、現在生きている人々、わたしたちの後に来る人々にかかわりがあります。また人が死すべき肉体をまとっている間だけに関するものではなく、永遠から永遠にわたって全人類の家族に関係があるのです。それゆえに、先に申し上げたように、ジョセフ・スミスは敬われ、その名が尊ばれるのです。主がジョセフ・スミスを通して地上に回復してくださった知識に対して心の底から神に感謝する人々が大勢います。ですから、彼らはジョセフをほめたたえ、ジョセフの価値^{あかし}について証^{あかし}するのです。そしてこれは一つの村、州、国だけでなく、これまで福音が宣^のべ伝えられてきたすべての国民、部族、国語の民、民族に及ぶのです。』²³



ジョセフ・フィールディング・スミス大管長

ジョセフ・フィールディング・スミス大管長——「わたしは、聖霊を通して与えられる啓示によって、イエスがキリストであることを知っています。さらに同じようにして、ジョセフ・スミスが昔も今も永遠に神の預言者であることを知っています。

わたしはジョセフ・スミスの神聖な名前を敬い尊びます。ジョセフ・スミスは、わたしの祖父であり祝福師であった兄ハイラム・スミスとともに、カーセージの監獄で

血をもってその証を結び固めました。ですから、少なくともわたしは主の御手に使われる者となって全地の隅々に知らせたいのです。主は再びわたしたちが救いを得られるようにするために、この時代に力強い聖見者を立て、地上に主の王国を再び確立してくださったということ。

わたしは自分の証と感謝の気持ちを込めて、教義と聖約から靈感された言葉を引用してこの話を終わりたいと思います。『主の預言者であり聖見者であるジョセフ・スミスは、ただイエスは別として、この世に生を受けた他のいかなる人よりも、この世の人々の救いのために多くのことを成し遂げた。』（教義と聖約135：3）²⁴

ゴードン・B・ヒンクレー大管長は、1994年6月26日、イリノイ州カーセージにおいて、預言者ジョセフ・スミスの殉教^{じゆんきやう}150年を記念して次のように述べた。——「カーセージで殉教したジョセフによって始められた栄えある業は、驚異的ではばらしい発展を遂げています。……パルマイラの少年が預言者に召されて始まったこの不思議な業は、預言者ジョセフが祈ったとおり、『暗黒の荒れ野から出て来て、月のように美しく、太陽のように輝き、旗を立てた軍勢のように恐ろしいもの』となったのです（教義と聖約109：73）。

今晚わたしたちは敬虔^{けいけん}な思いでここに立ち、バーモントの青い丘に始まり、ここカーセージの監獄で終わったジョセフの生涯とその奇跡に思いをはせています。その生涯は長くはありませんでしたが、その結んだ実は理解を超えるほどです。

末日聖徒イエス・キリスト教会の壮大な大義は、その働きの半ばで命を失った何千もの人々にとって、命以上に大切なものでした。ジョセフ・スミスが神の預言者であることを証するために、これまで何十万人の人々が世界中に出て行きました。高潔で徳高い無数の男性が神聖な権能を受け、ジョセフを通して回復された聖なる神権^{がいと}を外套のように身にまとっています。モルモン書は主イエス・キリストのもう一つの証として世界中に広められています。

遠い昔、別の場所で語られた真理のごとく、『殉教者の死が教会の種となった』のです。今晚わたしたちが集っているまさにこの場所で、150年前のあの蒸し暑い日に結び固められた証は、今や世界中の人々の信仰を養っています。]²⁵

研究とレッスンのための提案

この章を研究する際、またはレッスンの準備をする際に、以下の質問について深く考える。そのほかの提案については、vii-xiiページを参照する。

- 541ページにある経験を読んでください。ブリガム・ヤングがジョセフ・スミスの後を継いで教会の指導者になるという証^{あかし}を受けたとき、人々はどのように感じたと思いますか。主が今日の教会の大管長を召しておられることの証を得るには、どうすればよいでしょうか。
- エジプトに売られたヨセフなどの昔の預言者はジョセフ・スミスとその使命について預言しました(543ページ)。本章にあるように、末日の預言者たちはジョセフ・スミスの重要性について絶えず強調しています。ジョセフ・スミスが地上での務めを果たす前の時代と、後の時代の両方で、これほどの注目を集めているのはなぜだと思いますか。
- 544-545ページにあるジョセフ・スミスの予任に関する証を調べてください。「永遠の光に照ら〔す〕」ことによって、地上におけるジョセフ・スミスの使命について、新たに何が理解できるでしょうか。
- 545-547ページにある最初の示現に関する証を読んでください。最初の示現が「神の御子が墓より復活して高きに昇られて以来、世に起こった最も大なる出来事」であるのはなぜでしょうか。最初の示現が「この教会の基」であり「教会の力と持続性の鍵^{かぎ}」と言えるのはなぜでしょうか。あなたは最初の示現の証を得るためにどのようなことが助けになりましたか。
- ジョセフ・F・スミス大管長はこう宣言しました。「ジョセフ・スミスが果たした業については、ジョセフ・スミスでなく神に責任があります。」(545ページ) ジョセフ・スミスの使命について、これが重要なポイントとなるのはなぜだと思いますか。
- ジョン・テラー大管長はジョセフ・スミスについて「彼のように高度な知性を持つ人に会ったことはありません」と述べました(548ページ)。しかし、テラー大管長もほかの大管長たちも、ジョセフ・スミスは学校教育を受ける機会にほとんど恵まれていなかったと述べています。そのような預言者ジョセフがそれほどまでに高い知性を持つようになったのはなぜでしょうか。(例として547-

550ページ参照) 霊的な知識を得ようと努力するときに、ジョセフ・スミスの模範にどのように従うことができるでしょうか。

- 主がジョセフ・スミスを通して回復された真理と儀式に注目しながら、550-554ページを読んでください。回復された福音について知らなかったとしたら、あなたの人生はどのように違っていたでしょうか。あなたはなぜ、ジョセフ・スミスとその使命に感謝していますか。

関連聖句——2ニーファイ3：6-19；27：6-26；3ニーファイ21：9-11；教義と聖約1：17；5：9-10；21：1-6

注

1. ジョージ・Q・キャノン “Joseph Smith, the Prophet.” *Juvenile Instructor*, 1870年10月29日付, 174-175
2. 古代のヨセフの預言に関するもう一つの説明はジョセフ・スミス訳聖書, 創世50：24-36に記されている
3. ジョセフ・スミス・シニア, 1834年12月9日, オハイオ州カートランドでジョセフ・スミスに授けられた祝福, Patriarchal Blessings 1833-2005, 教会記録保管課, 末日聖徒イエス・キリスト教会, ユタ州ソルトレーク・シティー
4. ジョセフ・F・スミス, *Deseret News*, 1883年3月7日付, 98. 原文(英語)においては, 句読点は現代の用法に修正
5. ブリガム・ヤング, *Deseret News*, 1859年10月26日付, 266
6. ジョセフ・フィールディング・スミス “The Historical Background of the Prophet Joseph Smith.” *Improvement Era*, 1941年12月号, 717
7. エズラ・タフト・ベンソン “Joseph Smith—Man of Destiny.” 1967年12月3日にユタ州ローガンで行った説教, 3-4. *Annual Joseph Smith Memorial Sermons* (日付なし). 原文(英語)においては, 句読点および大文字は現代の用法に修正, 段落は変更
8. ジョセフ・F・スミス, *Deseret Evening News*, 1917年7月14日付, 9. 原文(英語)においては, 句読点は現代の用法に修正, 段落は変更
9. ヒーパー・J・グラント “Some Things We Must Believe.” *Improvement Era*, 1938年9月号, 519
10. ハワード・W・ハンター “Joseph—The Seer.” 1960年12月15日, ユタ州ローガンで行った説教. *Annual Joseph Smith Memorial Sermons* (1966年), 第2巻, 197-198. 原文(英語)においては, つづり, 句読点, 大文字, 文法は現代の用法に修正
11. デビッド・O・マッケイ “Joseph Smith—Prophet, Seer, and Revelator.” *Improvement Era*, 1942年1月号, 54
12. エズラ・タフト・ベンソン, 1984年5月20日, ユタ州ソルトレーク・シティーで行った説教, 2. Ezra Taft Benson, *Addresses 1943-1989年*, 教会記録保管課
13. ジョージ・アルバート・スミス, *Conference Report*, 1917年4月, 37
14. ジョン・テラー, *Deseret News*, 1880年6月2日付, 275
15. ウィルフォード・ウッドラフ, *Millennial Star*, 1890年4月28日付, 258. 原文(英語)においては, 大文字は現代の用法に修正
16. ロレンゾ・スノー, *Deseret News*, 1870年4月13日付, 115-116
17. ハロルド・B・リー, *Teachings of Harold B. Lee*, クライド・J・ウィリアムズ編(1996年), 372
18. デビッド・O・マッケイ “The Prophet Joseph Smith—On Doctrine and Organization.” 1944年12月10日, ユタ州ローガンで行った説教. *Annual Joseph Smith Memorial Sermons* (1966年) 第1巻, 9, 14. 原文(英語)においては, 句読点および大文字は現代の用法に修正
19. ハワード・W・ハンター “The Temple of Nauvoo.” *Ensign*, 1994年9月号, 63. 原文(英語)においては, 段落は変更
20. スペンサー・W・キンボール, *Conference Report*, 1977年4月, 114-115. *Ensign*, 1977年5月号, 77

21. ゴードン・B・ヒンクレー “Joseph Smith Jr.—Prophet of God, Mighty Servant,” *Ensign*, 2005年12月号, 4-6
22. ジョセフ・F・スミス “Joseph, the Prophet,” *Salt Lake Herald Church and Farm Supplement*, 1895年1月12日付, 210-211。原文（英文）の大文字は現代の用法に修正
23. ジョセフ・F・スミス, *Deseret News*, 1883年3月7日付, 98。原文（英語）においては、句読点は現代の用法に修正
24. ジョセフ・フィールディング・スミス “The First Prophet of the Last Dispensation,” *Ensign*, 1971年8月号, 7
25. ゴードン・B・ヒンクレー “Joseph, the Seer,” *Ensign*, 1994年9月号, 71。原文（英語）においては、段落は変